

いのちの記憶

カタチか

～地層に刻まれた魂の象～

むらかみよしこ タペストリー展

今おまえは時空の限りなく広い原っぱを駆けていく。
おまえの後を追いかけて、たくさんの夢見る者たちが続いていく。
時が降りつもる。満天の星たちも地上に降りつもる。
億光年の時が、頭上にきらめき、静かに静かにこの大地に降りつむ。
地層の中で眠る生命のほう芽たち、生命の種たちは夢見る。
内部に刻みつけられた長い時の記憶を宿して、
大地の鼓動を感じながら生れ出る日を待っている。

【会期】2026年3月1日(日)～5月31日(日)

いつまでも変わらない信念、意思のようなもの、いつも冷たい風に顔を向けて立つ。
そうしたものが一瞬、ふっと途絶え崩壊。そしてすべての後に残る美しい意思とは何か。指先が紡ぎ出した魂の象(カタチ)に触れた者たちが、次につなげていく命の繋がり、命を愛おしむあたたかい意思。永遠の命ではなく、一度きりのかけがえのない時を生きる者としてこの世に存在することを良しとした者。その限られた一生の中で、心底、心を込めて全霊でとりくんだ己の魂の形を象って、この時代の地層に刻み込むこと。縄文の遺物のように、万年を経て蘇る鮮烈なフォルム。彼の象った作品がそういう形で遺されていく。生命の記憶は、母なる大地の記憶。母なる大地から生まれたすべての生命たちには、その記憶が内在している。いくつもの時間が流れ、触れ合ったり響き合ったりして多様な生命を包み、時を刻み込んでいる。太古から連なる壮大な生命の記憶の渦。草木染・手織りで表現された生命の世界をどうぞご覧ください。

——作品「いのちの記憶～地層に刻まれた魂の象(カタチ)」(羊毛の手紡ぎ・草木染・手織作品 250×260cm)

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

 **猪風来美術館**
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の現代縄文美術館。
縄文造形家・猪風来と村上原野の縄文野焼き作品など代表作を200点以上常設展示。生命と魂のデザイン～縄文スパイラルアートを現在直下で展覧しています。

